

下水道事業特別会計

問い合わせ：留萌市都市環境部上下水道課管理係
(TEL 0164-42-2049)

総括

下水道は「汚水の排除」「浸水の防除」「河川・海域の水質保全」の3つの役割を持ち、市民一人ひとり、そして次の世代の市民が快適な生活と良好な環境で過ごすための重要な都市施設（財産）です。留萌市の下水道整備状況は、平成30年3月末現在で下水道管延長約114.40km、下水を処理できる区域は約516ha、下水道を利用できる人は18,191人、行政区域内人口の84.6%となっており、16,287人が下水道を利用しています。（水洗化率89.5%）

現在、浸水対策として東部・潮静地区の雨水管整備を実施しています。また、浄化センターが稼動して25年経過することから、長寿命化計画を策定し、老朽化した機械・電気設備などの更新工事を進めています。

経営状況につきましては、雨水管整備に伴う建設事業増により国庫支出金・市債が増加となり、前年に比べ歳入・歳出共に増となりましたが、経費の見直しや公的資金借換の効果等による歳出削減を図り、単年度収支（前年度への繰上充用金を除く）約3千1百万円の黒字となり、累積赤字額が解消となりました。

収入

(単位：千円、%)

■前年との比較

- ①受益者負担金
下水道認可区域の整備がほぼ終わり収入が減少。
- ②下水道使用料
水洗化率は微増(+0.7ポイント)なもの、人口減少により若干減少。
- ③国庫支出金
雨水管整備事業の増加に伴い増加。
- ④繰入金
分流式下水道に要する経費の増に伴う繰入金の増加。
- ⑤市債
雨水管整備事業の増加に伴い増加。

予算科目	平成29年度				平成28年度		平成28年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 受益者負担金	384	348	0.0	△ 36	1,642	0.1	△ 1,294	△ 78.8
② 下水道使用料	363,000	366,076	26.3	3,076	368,800	29.9	△ 2,724	△ 0.7
③ 国庫支出金	156,320	155,903	11.2	△ 417	56,742	4.6	99,161	174.8
④ 繰入金	380,111	371,578	26.7	△ 8,533	362,156	29.4	9,422	2.6
⑤ 市債	498,500	497,800	35.8	△ 700	440,500	35.8	57,300	13.0
⑥ その他	0	217	0.0	217	2,898	0.2	△ 2,681	△ 92.5
合 計	1,398,315	1,391,922	100.0	△ 6,393	1,232,738	100.0	159,184	12.9

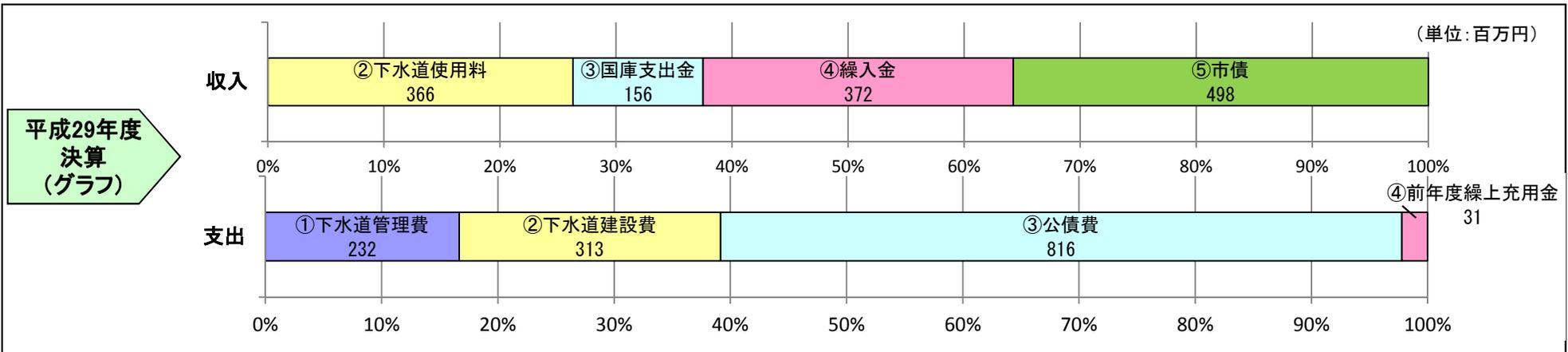
支出

(単位：千円、%)

■前年との比較

- ①下水道管理費
下水道認可変更・計画策定委託料の増及び消費税納付額の増により増加。
- ②下水道建設費
雨水管布設工事の増加。
- ③公債費
下水道整備による市債（借金）の公債費（返済金）は、金利見直しによる金利の減等により減少
- ④前年度繰上充用金
前年度の赤字補てんである前年度繰上充用金は黒字分が減少。

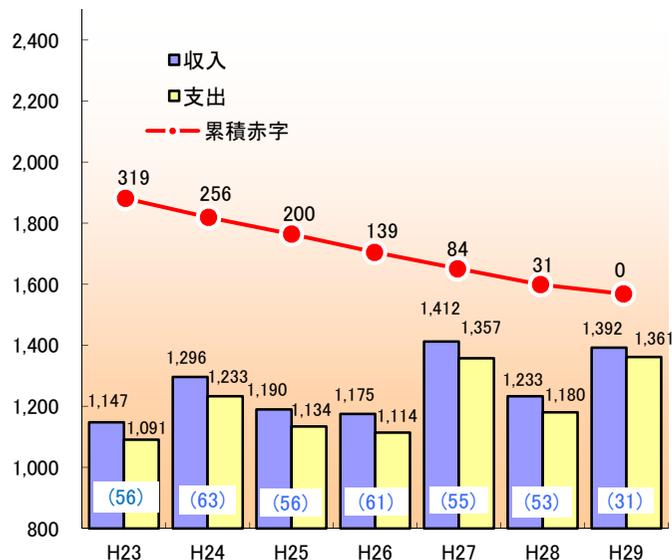
予算科目	平成29年度				平成28年度		平成28年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 下水道管理費	234,743	232,458	16.7	△ 2,285	205,098	16.2	27,360	13.3
② 下水道建設費	313,560	312,600	22.5	△ 960	154,661	12.3	157,939	102.1
③ 公債費	816,419	816,272	58.6	△ 147	819,743	64.9	△ 3,471	△ 0.4
④ 前年度繰上充用金	30,593	30,592	2.2	△ 1	83,828	6.6	△ 53,236	△ 63.5
⑤ その他	3,000	0	0.0	△ 3,000	0	0.0	0	0.0
合 計	1,398,315	1,391,922	100.0	△ 6,393	1,263,330	100.0	128,592	10.2



収支の状況(平成29年度決算)

単年度収支と累積赤字の推移

(単位: 百万円)

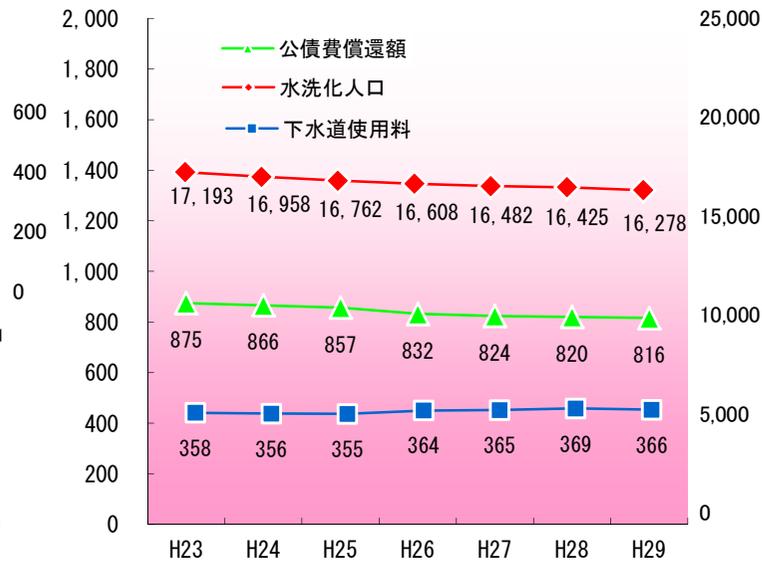


※ ()内数値=単年度黒字額

※ 支出は前年度繰上充用金(前年度からの借金)を除いている

水洗化人口・公債費償還額・下水道使用料の推移

(単位: 百万円、人)



下水道事業は、整備に長い年月と多額の費用を必要とし、その財源については、国庫支出金(国の補助)や市債(借金)により賅っていません。

平成29年度決算では、浸水対策として東部・潮静地区の雨水管整備を実施したため、建設費(支出)が増加しましたが、これに伴う国庫支出金・市債(収入)も増加しました。

また、経費の削減などにより、単年度収支で3,059万円の黒字となり、累積赤字額を解消しました。

今後も、収支均衡を基本に持続可能な下水道事業の運営を目指し、平成30年度から污水管整備の始まる東部・潮静地区の水洗化率の向上や適切な未収金対策、事業コストの見直しなどさまざまな経営改善を行っていきます。

平成30年度執行状況(9月30日現在)

収入

■収入の状況

- ①受益者負担金—新たに賦課対象区域となった土地に対する受益者負担金の発生により、収入額が前年度より増加しています。
- ②下水道使用料—前年度とほぼ同じ収納率で推移しています。
- ③国庫支出金—国からの補助金で、年度末の収入となります。
- ④繰入金—市から下水道事業に対する繰出し(負担)で、年度末の収入となります。
- ⑤市債—下水道整備のための借金で、年度末の収入となります。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
① 受益者負担金	5,857	1,508	25.7
② 下水道使用料	351,985	146,159	41.5
③ 国庫支出金	165,400	0	0.0
④ 繰入金	398,986	0	0.0
⑤ 市債	458,100	0	0.0
⑥ その他	1	5	0.0
合計	1,380,329	147,672	10.7

支出

■支出の状況

- ①下水道管理費—一般管理費、管渠維持費、浄化センター費などの維持管理費用は、前年度並みに推移しています。
- ②下水道建設費—下水道施設の長寿命化計画に伴う工事や雨水・汚水管布設工事に係るもので、進捗状況により変動します。
- ③公債費—市債(借金)は年2回の返済があり、9月から10月にかけての1回目の返済を予定通り執行しています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
① 下水道管理費	234,806	88,903	37.9
② 下水道建設費	327,400	15,211	4.6
③ 公債費	815,123	187,781	23.0
④ その他	3,000	0	0.0
合計	1,380,329	291,895	21.1

※9月末において、収入済額に対して支出済額が上回っていますが、国庫支出金・繰入金・市債の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間や一時借入金によって補っています。